



ホームページは [桂坂学区自治連合会](#) [検索](#)

## 再任のご挨拶

～超高齢化の今こそ、自治会を「住民どうしの支え合い」・「福祉」の団体として再認識しましょう～

桂坂学区自治連合会 会長 桑原 尚史

4月22日(日)開催の総会にて、ご再任をいただきました。

総会議案書に、2023年度に続き参考資料として、「桂坂学区自治連合会・自治会員数動向」を載せさせていただきました。自治会員宅数は、2012年度の3297軒をピークに、2015年度の3287世帯から毎年減り続け、2023年度は、2012年度比632軒減の2665軒でした。2023年度が前年度比126軒減でしたが、このペースで計算すると2032年には1531軒、2012年度の46%をということになります。

自治会の役員・班長を務め、「また同じメンバーで役をやりたいね」という充実感に満ちた声がある一方で、高齢を理由に自治会を退会する例も多くあります。その対策として、自治会役員・班長のさまざまな負担軽減に取り組み、会員数増を図ろうとしている自治会もあります。

夏祭り等をボランティア主体とした実行委員会による運営とした自治会、また、自治会における主要事業である夏祭りと学区民体育祭は、比較的若い世代が主な対象となっておりますが、ヨガサークル活動等、比較的高齢な世代を主な対象とする事業にも注力している自治会もあります。

2024年の誕生日を迎えた後、団塊の世代(1947～1949年生まれ)が全員75歳以上の後期高齢者となっている「2025年」が、いよいよ来年に迫っております。高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、厚生労働省が推進する「地域包括ケアシステム」には、「自治会」や「老人クラブ」への期待が掲げられ、「社会参加の促進」による介護予防も記されています。「人間は社会的動物」であることから考えても、納得の論理です。

当連合会ホームページに載っている各自治会の会則を読み返してみました。全16自治会中、目的や事業に、

「住民福祉の増進」が記されている自治会が11、「互助・扶助」が記されている自治会が9、「社会福祉」に触れている自治会が14あります。「社会」福祉は行政・公共色を感じる言葉ですが、「社会」福祉とは別に、多くの自治会において、わざわざ「住民」という単語を使って書いていることを考えると、「住民」福祉は、「住民どうしの支え合い」を意図しているように思います。「2025年」を目前に控えた今こそ正に、自治会会則の目的に記されたとおり、「住民福祉」、「互助・扶助」の団体として自治会を再認識すべき時ではないでしょうか。独居老人、認知症高齢者の徘徊、火災予防対策、近隣の助け合い・見守り、特殊詐欺対策、災害時対応等を考えると、「高齢だから自治会を退会する」というのは全く逆の選択であり、「高齢だからこそ自治会に加入する、加入し続ける」という状況にすることが急務です。超高齢化社会のピークに突入する今、自治会を「住民どうしの支え合い」の団体として更に改革していく、待たなしの状況となっております。

大変難しい時代ですが、皆様から引き続き、知恵と力と勇気を賜り、桂坂の未来に向かってまいろうと思いますので、2024年度も引き続きよろしくごお願い申し上げます。

## 桂坂学区自治連合会 2024年度の事業方針・計画

桂坂への愛着、誇り、ネットワークを基礎に、地域がいつまでも輝き続けられるために自治連・自治会・各種団体が協力し、以下について活動の原点を見直しつつ推進する

### 1 安心・安全で住み良いまちづくり

- ・実効性のある総合防災訓練等の実施と災害に対応し得る各自主防災部の確立
- ・防災まちづくりの推進
- ・防犯活動の推進
- ・地域包括ケアシステムについての学習

### 2 良好な景観・住環境の保全と美しいまちづくり

- ・桂坂学区統一ふれあいクリーンデー及び各自治会の清掃活動の推進
- ・公園・緑道・街路樹・フォルトの維持管理についての検討・推進

### 3 活気と魅力あるまちづくり

- ・公園利活用の検討・推進
- ・桂坂消防出張所予定地売却問題対策委員会の活動推進
- ・交通利便性向上の検討・推進
- ・桂坂オータムフェスタ、桂坂学区民文化祭の開催
- ・洛西ふれあいの里秋まつりへの協力
- ・桂坂野鳥遊園もみじまつりへの協力
- ・桂坂学区民体育祭への協力
- ・行政機関や国際日本文化研究センター、京都大学(桂キャンパス)等との連携

## 4 その他

- ・自治連や自治会における課題の抽出とビジョンや解決策等の検討
- ・自治連IT化の推進
- ・古紙等コミュニティ回収の実施・推進

## 桂坂学区2024年度主要行事予定

5月19日(日) /雨天時6月2日(日)	春の統一ふれあいクリーンデー
6月8日(土) /雨天時9日(日)	「洛西の河川を美しくする会」の美化清掃活動 /下狩川河川敷(桂坂学区内)
7月7日(日)	防災体験学習・リーダー研修 /大阪市立阿倍野防災センター
8月17日(土) /雨天時18日(日)	自治会夏祭り基準日
10月13日(日) /雨天時14日(月・祝)	桂坂学区民体育祭
10月20日(日)	桂坂オータムフェスタ(桂坂学区民文化祭)
11月10日(日)	桂坂学区総合防災訓練
12月1日(日) /雨天時12月8日(日)	秋の統一ふれあいクリーンデー



## 令和6年能登半島地震の京都DWAT災害派遣活動報告2

高齢サポート・杓掛(京都市杓掛地域包括支援センター)センター長 京都DWAT(京都府災害派遣福祉チーム)

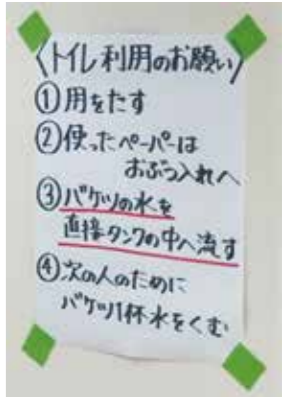
山口 貴也

前回に引き続き災害派遣活動を、今回はトイレと断水について報告させていただきます。トイレ事情につきましては、1月14日のお話しですが、七尾市と車で片道2時間かかる宿泊地の金沢市は問題なく使えました。現地では、災害派遣車両で高速道路を使って移動しましたが、能越自動車道のサービスエリアのトイレは断水中で利用不可でした。七尾市内のコンビニエンスストアやガソリンスタンドも「トイレ使えません」の張り紙がされており、七尾市役所の部署に入っているパトリア(大型商業施設)も断水のためトイレ使用不可。御稜地区コミュニティセンターのトイレは井戸水を活用し汚物を流されてましたが、バケツに水を汲んでおいたり、使ったペーパーを流すと詰まるので、汚物入れへ。次の人のためにバケツに水をくむというルールがありました。中島小学校は、箕面市のトイレカーが学校玄関にありましたが、手洗いは学校前のタンクからの水で洗う仕組みでした。今回

の地震で液状化現象の影響もあり、上下水道が破損し、マンホールが地面から飛び出した状態で、安全のためコーンが設置されていました。下水道が破損すると、水があっても(上水道の復旧等)トイレ等が流せない状況です。発災後はトイレが使えなくなり、使うとしても下水道が破損していたら、汚物が流れず詰まるので使えない状況



となります。行政HPには、「トイレが使えない場合は、便器にビニール袋を2重にかぶせ、その中に新聞紙などを敷いて用を足せるようにしてください」「使用後は内側のビニール袋(1枚)の口を縛って捨て、新しいビニール袋をかぶせま



す。感染症予防のためビニール袋交換の際は、手袋を使用しましょう」とありました。避難所では、水が使用できないことで衛生環境が悪化し、コロナ・インフルエンザ・ノロウイルスが発生していました。発災後のトイレのルールの徹底は、感染症拡大防止に非常に有効と思います。派遣活動中(1/14～17)にごみ収集再開がされましたが、一般ごみは収集せず、汚物のみ収集という内容でした。断水の復旧率ですが、内閣府の情報では1/14現在の断水率は、七尾市約93%、能登町約98%、輪島市・珠洲市・志賀町・穴水町はほぼ100%。新聞報道の情報ですが、発災後15日の断水率は、平成28年熊本地震で2.9%、東日本大震災で19.3%とあり、今回は半島という特殊な地域での被災で、断水率が高い状況となっております。しかしながら、京都市が被災した時を想定して、断水下でのトイレ利用を周知していくことは重要と思います。

山口の活動中のトイレ使用ですが、宿(金沢市)とパトリア近くの商業施設の簡易トイレと中島小学校のトイレカーのみで、後は我慢して乗り切っておりました。トイレ後等の手洗いについては、アルコール消毒スプレーを持参し、必要時やトイレ後に多めに使用しておりました。後は宿で濃いめのうがい薬でうがいや、ビタミン剤を服薬して体調管理に努めておりました。

※日々被災地の状況は分かってきておりますが、トイレ事情や断水率などの数字は当時の情報の数字としております。

会長	桑原 尚史	にれのき
副会長	吉田 美和子	つばき
〃	高田 信也	もくれん
副会長・会計	太原 淳	はなみずき
副会長	長束 義浩	くすのき
〃	西山 房子	もみのき
事務局長	立川 裕美	つばき
事務局担当(広報)	村井 幸子	あかしあ
自治会長	糟野 博子	かえで
〃	岡村 玲子	さつき
〃	西村 功	しらかば
〃	竹田 昌充	はなみずき
〃	中尾 亮文	あかしあ
〃	浅田 将樹	ぼぷら
〃	和田 英明	けやき
〃	中村 剛	ひいらぎ
〃	藤本 明弘	つばき
〃	河合 行朗	くすのき
〃	橋本 由結	もくれん
〃	中路 省吾	あすなる
〃	島田 操	にれのき
〃	塚本 律	もみのき
〃	宅間 秀和	さくら
〃	猪飼 篤	くるみ
監査役	石川 勉	かえで
〃	北川 薫	しらかば
委員	青木 綾子	かえで
〃	宮林 浩子	さつき
〃	木村 佳美	しらかば
〃	保田 智之	はなみずき
〃	岸田 敏男	あかしあ
〃	高木 工	ぼぷら
〃	和田 堅介	けやき
〃	富士 由香	ひいらぎ
〃	大八木慎一郎	つばき
〃	有賀 洋子	くすのき
〃	佐藤 純	もくれん
〃	水田 和彦	あすなる
〃	船橋 眞規子	にれのき
〃	実原 直美	もみのき
〃	牧野 通子	さくら
〃	橋本 太志	くるみ

一年間、どうぞよろしく願いいたします。

広報委員会 (委員長 村井幸子)

松井 嗣	かえで	上川 正子	ひいらぎ
村上しのぶ	さつき	清水 ひろみ	つばき
吉田 佳世子	しらかば	齊藤 豊	つばき
千頭 宗子	はなみずき	河野 友佳	くすのき
芳岡 静	はなみずき	建口 弘子	もくれん
谷 良文	あかしあ	安達 香世	あすなる
小笠 やよい	あかしあ	葉山 悦子	あすなる
樹山 昌明	ぼぷら	西村 正弘	あすなる
内田 順子	ぼぷら	関口 きよみ	にれのき
梅津 俊広	けやき	磯橋 暁子	もみのき
川崎 美加	けやき	牧野 通子	さくら
森 幸治	ひいらぎ	木村 桂	くるみ
長岡 香	ひいらぎ		

※各種団体長・桂坂学区学校施設の長につきましては、次号にて掲載する予定です。

今、日文研(国際日本文化研究センター)が面白い!

～楽しい企画続く～

3月9日(土) デイナー・レクチャー レストラン赤おに企画「磯田道史と日本史を語ろう」

ベストセラー書を多く出されている日文研の磯田教授による講演会が、日文研さつきホールで開催され、多くの桂坂住民が熱心に聞き入りました。次回開催も企画されるとのことです。乞うご期待!



3月25日(月) 第72回 日文研学術講演会

マルクス・リュッターマン先生 倉本一宏先生

(大河ドラマ「光る君へ」時代考証 倉本一宏先生、講演される)

以下、桂坂の「朗読アンサンブル 京・Genji」さんによる当日レポートです。

3月25日、この季節にしては寒い、雨の降る日にもかかわらず会場は満席でした。

マルクス・リュッターマン先生のご講演は「中近世日本語心情表現の応用と転換」。日本の中近世を中心に「オソレ(恐怖)の心情表現がどのように変容し言語化、概念化していったのかをお話してくださいました。漢語の挨拶言葉で使用された恐れの種類に影響を受け、和語の「オソレ」は手紙文の結び「かしこ(恐れ多い)」「恐々謹言」などに見られるように、使い方や意味までも大幅に変わったとの興味深いお話でした。

休憩を挟んでの倉本先生のご講演は「紫式部—その第三の人生」でした。紫式部と言えば『源氏物語』や『紫式部日記』の作者としての第二の人生がクローズアップされがちです。しかし、その後の第三の人生の方が長いと考えられ、藤原実資の日記『小右記』や他の文献を紐解きつつ、紫式部と思われる女房が実資と交流し政治的に重要な役割を担っていたことを解説してくださいました。先生のご講演に引き込まれ、もっとお話を伺いたい、『小右記』も読んでみたいと思いました。そして、先生が時代考証されているNHK大河ドラマ「光る君へ」の紫式部や実資がよりリアルに身近に感じられました。



桂坂に関する学校の卒業生数・入学者数

桂坂小学校、大枝小学校、大枝中学校いずれも、卒業生よりも入学者が少なく、また、両小学校の卒業生合計138名に対し、大枝中学校入学者は113名であり、その差25名は、私立中学校等への進学したものと推測されます。西総合支援学校は増加傾向が続いており、現在、校舎増築工事中です。



学校名	卒業2024年3月			入学2024年4月				
	児童・生徒数(育成学級含む)		最終学年普通学級数	児童・生徒数(育成学級含む)			1年生普通学級数	
	各校	小計		各校	小計	2024.3卒業比人数		
桂坂小学校	99	138	3	68	102	-31	-36	2
大枝小学校	39		2	34		-5		1
大枝中学校	142		5	113		-29		3

学校名等	卒業2024年3月		入学2024年4月			
	児童・生徒数		児童・生徒数			
	各部	小計	各校	小計	2024.3卒業比人数	
西総合支援学校	小学部	13	20		+7	通学校区 西京区 右京区
	中学部	23	20	77	-3	
	高等部	24	37		+13	

「令和6年度 日本赤十字社活動資金募集」のお願い

桂坂学区赤十字奉仕団 分団長 松井政枝  
桂坂学区民の皆様には、赤十字事業に温かいご支援・ご協力に心から感謝申し上げます。赤十字社の活動は国内はもとより、世界平和と福祉増進、災害救助活動をはじめ血液事業・奉仕活動の推進のため、また看護師の養成、救急法・家庭看護法の講習など数々の事業を推進するための基金となります。未だ終息のめどが立たないロシアのウクライナ侵攻や中東情勢をはじめ、年明けの能登半島地震など厳しい環境下へのますますの支援を必要とされております。

本年度も学区内にて、避難所における心のケアをとまなう講義と非常食の試食会の開催を予定しております。

令和6年度も5月1日～1日まで、『赤十字活動資金募集月間』を行います。この運動の趣旨を御理解を戴きまして、お力添えをお願い申し上げます。

◆ 編集後記 ◆  
第一号・総256号の発行となります。子どもの進学に伴い銀行口座開設に印鑑が出来るのを10日程待っていました。15歳以上は自分がネット上で手続きが出来、印鑑不要でした。印鑑不要の銀行も多いようです。大学生協などに加入して入金しておく、親の端末から学食で何を食べたのかメニューを確認できたりと時代も変わったものだとしみじみ感じ入りました。根気よく情報のアプデ(アップデート)しなきゃなと思う出来事でした。本年も広報「桂坂」どうぞよろしく願いいたします。  
村井幸子

春の統一ふれあいクリーンデー

5月19日(日) 9:00～10:00  
雨天時/6月2日(日)

各種団体からのお知らせ

- ☆桂坂社会福祉協議会  
いきいき筋トレ教室/クローバーホール  
5月12日(日)・6月9日(日) 10:00～12:00  
びば筋トレ教室 5月19日(日) 10:00～  
※どなたでも参加できます。  
すこやかサロン/クローバーホール  
5月18日(土)・6月15日(土) 10:00～12:00  
スカイクロス/桂坂ふれあい公園  
5月22日(水)・29日(水) 6月5日(水) 10:00～12:00  
桂坂きつずサロン/桂坂児童館  
6月12日(水) 10:30～12:00
- ☆桂坂体育振興会  
桂坂ボウリング大会/KAP吉祥院ボウル  
6月9日(日) 9:30～  
桂坂グラウンドゴルフ大会/桂坂小グラウンド  
6月29日(土) 17:00～ (予備日: 30日(日))

☆桂坂児童館

桂坂児童館では、地域における子どもと子育て家庭の中心の施設として、さまざまな取組を行っています。 児童館HP



古紙回収(コミュニティ回収)のご案内

- はなみずき・しらかば・さつき1区・2区・かえで・くるみ地区 毎月第2金曜日  
5月10日(金)・6月14日(金)・7月12日(金)
  - あかしあ・ぼぷら・さつき3区・けやき・つばき・ひらぎ地区 毎月第3土曜日  
5月18日(土)・6月15日(土)・7月20日(土)
  - もくれん・くすのき・にれのき・さくら・もみのき・あすなる地区 毎月第4土曜日  
5月25日(土)・6月22日(土)・7月27日(土)
- ※朝、8時半までにお出しく下さい。